

1 まちづくりコーディネーター活動報告について

(1) まちコ依頼活動報告

《令和5年度実績 11件（1月22日時点）》 ※令和4年度実績 8件

依頼元	依頼内容	人数	出勤回数
自治会	①住民会議のファシリテーション（重原）	3	1
	②自治会勉強会のファシリテーション（小山）	13	4
	③お宝さがしウォーキング実行委員会（西部）	1	1
市	④まちづくり講座・学習編（市民協働課）	5	1
	⑤認知症サポーター養成講座のファシリテーション（長寿課）	2	1
	⑥ファンドレポートの作成（市民協働課）	6	4
	⑦「しゃべり場」（市民協働課）	4	1
	⑧かりや夢ファンド補助金公開審査会（市民協働課）	5	1
その他団体	⑨実行委員会のファシリテーション（ワールド・スマイル・ガーデンーツ木）	1	1
	⑩自治連合会勉強会の講義	2	1
	⑪「わがまちのつむぎ場」地区取材及びパネル作成（刈谷市民ボランティア活動センター）	5	1
合計		47	17

(2) まちコゼミ（まちコ世話人が実施） 【各回詳細：資料1-2参照】

	実施回数	累計参加人数
大野ゼミ（オンライン支援（パワーポイント基礎知識、作成、発表））	9	59
塚本ゼミ（まちコ各々の活動経験の共有・振り返りを通して学びあう）	5	33

(3) まちコ交流会

第1回 【詳細：資料1-3参照】

日時：9月16日（土）午後3時～午後5時

場所：刈谷市民ボランティア活動センター

参加者：まちコ12人、一般11人、世話人2人 計25人

内容：まちコミニ講座、まちコカフェ体験会

【裏面有り】

第2回（予定）

日 程：令和6年3月頃開催予定

内 容：ワールドカフェ形式でまちコ活動収穫祭

ファシリテーター：守随 純子 氏

（4）つなぎの学び舎

今年度は7月～2月の全7回講座。受講生は12名。

12月末時点で第6回まで開講している。

- ・第1回【7月9日（土）】「まちづくりの思い、聴いて語ろう」
- ・第2回【8月5日（土）】「話し合いの「ファシリテーション」とは」
- ・第3回【9月2日（土）】「まちづくり活動の現場から学ぼう」
- ・第4回【10月14日（土）】「話し合いの「場づくり」とは」
- ・第5回【11月25日（土）】「まちづくり活動の企画をたてよう」
- ・第6回【12月23日（土）】「つながりたい！広報の仕方を考える」
- ・第7回【2月17日（土）】「わたし発のまちづくりを提案しよう」

まちコゼミ記録

大野ゼミ プレゼンテーションの技術

2023年8月24日(木) 19:00~20:30

刈谷市民ボランティア活動センター Cルーム

参加まちコ(敬称略)8名:飯島、石田、岡、小森、畑、松浦、水鳥、松尾(オンライン)、事務局:大野、前川、遠山

資料(まちコルームに掲載):「プレゼンテーション技術」>プレゼン(配布用)



【本日のねらい】プレゼンテーションに必要な技術を学ぶ

◎資料にそって、大野さんからのレクチャーの後、質疑をしました。

1) 整理・企画する技術

●プレゼンとは、「解決策を提案すること」

「困った・何か良い方法はないか」というニーズに対応するシーズの提案。ニーズが解決した後の「あるべき姿」を見せることにより、相手が「受け入れる・納得すること」につながります。

それを整理するために「システム」という発想が役立ちます。

●システムがうまく働くためには

- ・システムには「目的・役割・働き・機能」があり、一括して『機能』と呼びます(「目的」としても可)。
- ・機能を表現するには、「目的語+動詞(〇〇を××する)」。目的をはっきりさせるため、修飾語はなるべく使わないようにすること。

例) 環境美化とは? ・ゴミをまちからなくす ・美しい環境を保つ
・道路を整備する ・環境を美しくする
・花を植える

} 行動が変わってしまうのはよくない
同じであること

●企画(システム)の、目的(機能)を設計する、操作手順(プログラム)

例) 灰皿の凹の機能を考えよう

・タバコを置く/手放す/字を書きたい・手を使いたい/字や絵を書くから/思いついた良いアイデアを記録する/忘れないため・より良い方向に向かうため/生活を豊かにする/便利にするため/幸せにするため・なりたいた

め

最終目標

●相手のニーズにあった解決策の提案

・よい企画にするためには、誰のための企画か、手段が達成できると誰が喜ぶか、相手方のニーズをはっきりさせることが重要です。ニーズのレベルを把握し、それに対応した解決策を提案することで、よい企画が始まります。



2) 説得・表現する技術

- ・相手の納得「いいじゃんこれ」「やってみよう」という受け入れ・実施を引き出すこと。
- ・プレゼンのテクニックに関する本(How to)は巷にあふれています。本当に知りたいことは「What to do」何をするかを考え、整理すること、すなわち「システム発想」が大切です。

●次回の予定:9月28日(木)19:00~20:30 市民ボランティア活動センター/Zoom 併催

・「プレゼンテーションの技術」プレゼンで気を付けていることに関する講義/みんなでプレゼンを実践!

※パソコンをご用意ください。パワーポイントを使用して実践します。

大野ゼミ プレゼンテーションの技術

2023年9月28日(木) 19:00~20:30

刈谷市民ボランティア活動センター Cルーム

参加まちコ(敬称略)5名:石田、岡、松浦、水鳥、事務局:大野、前川、遠山

資料(まちコルームに掲載):「プレゼンテーション技法」>プレゼン(配布用)

整理シート(ワード版)、絵コンテ(ワード版)、/いっつもトークサービス提案書(当日配布のみ)



【本日のねらい】どのようにプレゼンテーションするか「説得する技術」「表現する技術」を学ぶ

◎資料にそって「整理する・企画する技術」をふりかえり、「説得する・表現する技術」のレクチャーの後、プレゼン(提案)整理シート・スライド絵コンテシートを書き進めました。

0) 整理する・企画する技術

- ・解決後のイメージを示し、相手の納得や「いいじゃんこれ」「やってみよう」という受け入れ・実施を引き出すこと。
- ・ユーザーのニーズをはっきりさせること。5段階のうち相手の状況を見極める(診断/提案/取揃/紹介/納入)
右側にいくほど相手の考えが明確になっている。(診断:どうすればいいかわからない → 納入:ほうきを買おう)
- ・ニーズにあったシーズ(手段・解決策)を提案すること。

1) 説得する・表現する技術【スライド51~】※資料より抜粋

- ・全体像を最初に示す(目次をつくる/右肩に目次の項目/ページ数をいれる等)
- ・最初が肝心。つかみが90%。最後まで聞いてもらえるかが決まる。
- ・大事なことは何度でも繰り返す。
- ・見せたい部分を色付けしたり、抽出したりして引き立たせる
- ・1枚のスライドは、10行以内(表や細かい文字は読めない)図・グラフ・絵や写真・動画を多用する。
- ・アニメーションの効果は、先読みされないこと、言いたい順番に理解を促す(人は動いているものに目がいく)



▲スクリーンと聞き手の間に立ち、言い切る態度が大事

2) 実践する技術

・各自がプレゼンしたい内容について、シートへの書き込みを個人作業で行いました。

[1] プレゼン(提案)整理シート

5段階の「ニーズ」「シーズ」を「〇〇を××する」機能表現で記入する。

[2] 絵コンテシート(右記参照)

“起承転結”になっているか、確認すること

①準備する、②実施する、③後始末する・・・Todoリストの整理に同じ

①起、②承、③転、④結

①序論、②本論、③まとめ

・報告書、企画書、提案書、計画書、講演・講座、いずれもプレゼンテーション(表現の一つ)。何をどうするか(What to do)をはっきりさせることで相手に伝わる内容となる。

●パワーポイント:基本的な作り方解説

<https://www.nojima.co.jp/support/koneta/120578/>



1) 導入	2) 経緯
3) 目的・結論	4) 何のために なぜ
5) 対策(案) どうするか	6) どうなるのか 予算

●次回の予定:10月26日(木)19:00~20:30 市民ボランティア活動センター/Zoom 併催

【宿題:絵コンテをつくってこること】※パワポづくりから始まります。パソコンをご用意ください。

大野ゼミ プレゼンテーションの技術【vol.4】

2023年10月26日(木) 19:00~20:30

刈谷市民ボランティア活動センター C ルーム

参加まちコ(敬称略)5名:石田、岡、桑畑、鈴木小、松浦

事務局:大野、小原、前川、遠山

資料(まちコラムに掲載):「プレゼンテーション技法」>プレゼン(配布用)



【本日のねらい】プレゼンテーションする技術「説得・表現する技術=How to do」の解説と実践

◎資料にそって、前回までの内容を振り返り、プレゼンテーションする技術(ノウハウ)講義の後、質疑を行いました。

【ふりかえり】

プレゼン=「解決策を提案する」こと

1) どうやって伝えたいか(How to do) 2) 何を伝えたいか(What to do)

「整理する」「企画する」「説得する」「表現する」技術→納得して・受け入れる・実施するところまでできたらゴール

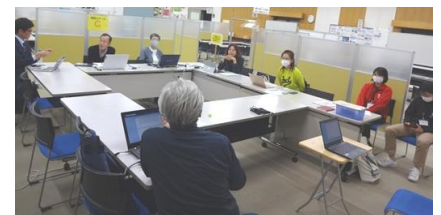
【プレゼン技術、テクニックに関するレクチャー】

★ビジュアルに気を配る

- ・1枚のスライドは10行以内。キーワードを載せることによって、話す内容を確認できる。
 - ・濃い背景に白抜き文字とすると読みやすい。
 - ・文章をそのまま載せるのはNG。伝えたい内容を選んで強調する演出もよい(※資料65-71参照)。
 - ・先読みされないようアニメーション(動き※)を活用
- ※タブ「アニメーション」→「デザイン」→「アニメーションウィンドウ」:イラストの表示を0.5秒遅らせる
「フェード」「スライドイン」など機能が多数あるが、1回のプレゼン通じて1つに決めると読み手にやさしい。

★作り方のコツ

- ・一通りつくって、時間にあわせて削っていく。耳で聞くと伝わりやすさが分かる。
(1時間のプレゼン資料を作るのに10時間程かかる)
- ・シナリオ(読み原稿)に「▲クリック」するタイミングを記す。
- ・繰り返しリハーサルをする。自分で作って話をして見ないと時間が見通せない。
読みながら直す。



【質疑応答】

Q:「あがり症」の克服方法は?

A:小さなミスをわざとする。ちょっとつまずいてみて、笑いが起こると落ち着く、と言われる。

Q:「シーズ」課題の解決の提案が必要か。

A:「私が言いたいこと」をプレゼンテーションすればOK。

Q:パワポと読み原稿 どちらを先につくるか?

A:パワポを先に作る。一通り作って実際に話をして、順番を入れ替えたりしているが、自分がやりやすい方法でよい。

【感想・コメント】

- ・発声は練習あるのみ。他の人の授業の様子をみたり、芸人でまわすのがうまい人を参考にしたりしている。
- ・スライドごとにタイトルを書いてから作り始める。見出し(=目次)が決まると、話の筋ができあがる。
- ・学び舎で学んだ「かみしばいプレゼンテーション(KP法)」を活かす。

●次回の予定:11月14日(火)19:00~20:30 市民ボランティア活動センター/Zoom 併催
みんなでプレゼンしてみよう!【宿題:パワーポイントづくり】※パソコンをご用意ください。

大野ゼミ プレゼンテーションの技術【vol.5】

2023年11月14日(火) 19:00~20:30

刈谷市民ボランティア活動センター C ルーム

参加まちコ(敬称略)5名:石田、岡、桑畑、鈴木小、松浦

事務局:大野、前川、遠山



【本日のねらい】『表現する技術』を身に着ける!

◎聞き手に「さあやろう!」と行動を促すことを心掛けて、プレゼンテーションを実践しました。

石田さん

「Canva を使ってデザインしてみよう!」

【概要】

- ・ちらしづくりの困り事を解決
- ・Canva を使って作ったちらしを紹介
- ・Canva ワークショップの提案



〇〇..感想コメント..〇〇

- ・「Canva」を初めて知った
- ・解説を聞いて、編集が楽といった強みが解った
- ・アニメーションの使い方(斜めに赤字)が効果的
- ・人のイラストは、二人の顔が外向きになっているが、向かいあっている方がよい。

大野さんよりコメント

- ターゲットの絞り込み → パソコン習熟度をふまえた解説(「Canva のログイン画面」を表示して、操作によりどう画面が変わるかを示す等)を加えるとよい
 - チラシ作りに使っているもの(ワードやパワーポイント)の特徴と比較して伝えるとわかりやすい
 - 「ワークショップ提案」につながるよう最初に目的を示す
-
- 表紙のデザインがよい!
 - 背景は暗く、文字は明るい色が読みやすい
【文字18pt以上/1画面5~7行】
 - アニメーションの種類は、イラスト・文字それぞれ統一する

●次回の予定:12月26日(火)19:00~20:30

市民ボランティア活動センター/Zoom 併催

みんなでプレゼンしてみよう!【宿題:パワーポイントづくり】

※パソコンをご用意ください。

桑畑さん

「町内会なり手発掘におけたご提案 ~私にもできる町内会活動を目指して~

【概要】

- ・なり手発掘のやり方と課題
- ・ありたい町内会・役員体制
- ・役員を受託する要件等



〇〇..感想コメント..〇〇

- ・嬉しいこと、高齢化の課題が似ていて共感した
- ・まちコとして地域に関わろうとする時に勉強になる
- ・これから関わろうとする人には深刻に受け止められるのではと感じた。若者に呼びかける場合は、わかりやすい内容がよい。

大野さんよりコメント

- 現状→要因→対策 マンダラートの学びを活かして分析されている。プレゼンでは結論を先に話すと伝わりやすい。
- 文字数を半分程にして、イラスト・図・写真を加えると聞き手に「イメージ」で伝わる
【目次:9項目→3つのポイントにまとめる
現状課題分析→1枚のスライドにまとめる】
- 言い切る姿勢が信頼につながる
- やさしい言葉を心がける(受託→うける)

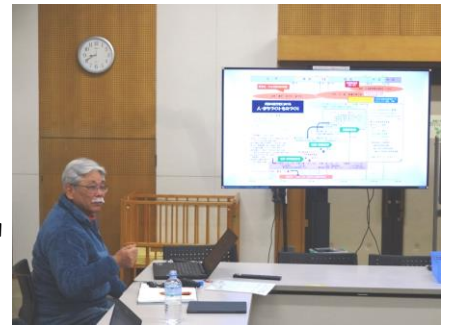


大野ゼミ プレゼンテーションの技術【vol.6】

2023年12月26日(火) 19:00~20:30

刈谷市民ボランティア活動センター C ルーム

参加まちコ(敬称略)5名:石田、岡、桑畑、松浦、水鳥 事務局:大野、前川、遠山



【本日のねらい】『表現する技術』を身につける!

◎聞き手に「さあやろう!」と行動を促すことを心掛けて、プレゼンテーションを実践しました。

松浦さん「お茶の魅力を伝えたい♥」

【概要】

- ・お茶の歴史・種類・「茶の湯」紹介
- ・お茶文化を伝えていく上での課題
- ・お茶席へのご案内



〇〇..感想コメント..〇〇

- ・つかみの部分(お茶の紹介)が整理されていてよかった。
- ・お茶の奥深さがよく分かり、お茶が大好きだと伝わった。
- ・起承転結があり、プレゼン内容が分かりやすかった。
- ・目次があると、今どの話をしているのかわかりやすい。
- ・分類図は、特徴的な部分を目立たせると見やすい。

桑畑さん

(「町内会のなり手発掘に向けたご提案」ver2)




〇〇..感想コメント..〇〇

- ・スライドごとにタイトルがついているのが分かりやすい。
- ・イラストがもっと多く使っているとよかった。

大野さん講評

◎スライドの作り方に関する技術的アドバイスの後、より伝わりやすくするための構成について意見交換しました。

- ・アニメーションの動き・イラストのデザインは全体を通して統一する(試してみたいくなるが、1種類に絞ると見やすい)。
- ・同じスライドを2回用いる場合は、それぞれのスライドで伝えたい箇所を強調(色づけ・丸囲み・拡大など)するとよい。
- ・スライドごとにまとめのコメントがあるのはわかりやすい。最後にまとめて一覧で表示してみるのもよい。
- ・文字数が多いスライドは、アニメーションで1行ずつ出すと動く文字に注目してもらうことができる。
- ・プレゼン時に強調したい部分に、をアニメーションで加えるとポインターの代わりとなる。
- ・パワーポイント(office365)の中にもイラストが豊富にあるので、活用してみてください。

水鳥さん「ガールスカウトを知ってますか」

【概要】

- ・めざすもの・モットー紹介
- ・活動のポイント・内容紹介
- ・写真で活動紹介



〇〇..感想コメント..〇〇

- ・背景やイラスト、文字の大きさ、写真等わかりやすかった。
- ・ガールスカウトがどういうものか十分よく伝わった。
- ・入団希望者へ呼びかける際は、問合せ先があるとよい。
- ・ロープワークについて説明があるとより分かりやすい。
→結び方のイラストをアニメーションで表示するとよい。

岡さん(「ファシリテーターは船頭さん」

“会議のクルーズを
楽しめるようお手伝いします”



★次回のプレゼンにおいて、アニメーションの設定について確認しました。



- 次回の予定:1月31日(水)19:00~20:30 市民ボランティア活動センター/Zoom 併催
プレゼン実践+アニメーション効果・画像を重ねて表示する事例の紹介※パソコンをご用意ください。








塚本ゼミ 令和5年度 第4回「松尾さんのお話」

令和5年10月5日(木)18:05~19:10 /オンライン(zoom)

参加まちコ(敬称略):松尾、畑、岡、松浦、塚本、桑畑 事務局:刈谷市(小原、前川)、VNS(加古、遠山)

1. 自己紹介とアイスブレイク(ファシリテーター:畑さん)

自己紹介・1日の内、どの時間が好き?	
	<p>岡さん</p> <p>まちコ3期生。夕方です。犬の散歩をし、ごはんを作り終えて、TVなどを見ている時間は、自分のペースで動ける時間であり、好きな時間です。</p>
	<p>松浦さん</p> <p>まちコ3期生。朝起きた時間が好きです。自分の時間が取れること、太陽を浴びて、ラジオ体操をする時間です。</p>
	<p>塚本さん</p> <p>まちコ3期生。新聞配達が終わわり、4~6時くらいの静かな時間が好きです。</p>
	<p>松尾さん</p> <p>まちコ2期生。子どもを保育園に送り届けたあと、ホッと一息する時間が好きです。</p>
	<p>畑さん</p> <p>まちコ4期生。新聞配達が来るころの朝の時間が、充実していて好きです。</p>
小原: 深夜のシーンとした時間が好きです。	前川: 朝が弱く、寝る前のゆったりとした時間が好きです。
遠山: 朝早く空気が澄んでいる時間が好きです。	加古: ふとんに入って、寝る前の時間が好きです。

2. 「松尾さんのお話」(話題提供:松尾さん/聞き手:畑さん)

●まちコになるキッカケ

- ・つなぎの学び舎を受講し、まちコになりました。受講のきっかけは、人と関わる機会の多いハビリの仕事に役立ちそうだったことと、職場と家以外でも活動できる場所を探していたこと、また、仕事に慣れてある程度余裕ができていたことです。
- ・つなぎの学び舎では、様々なことを学びました。一番印象深かったことは、企画書づくりです。受講生は地域活動をしていたり、長い間ボランティアをしていたりと、既にまちづくり活動のベースがある方が多くいましたが、仕事以外では特に活動をしていなかったこともあり、企画書をどのように書こうかと悩んでいました。以前、写真の撮影方法を学び、学んだことを活かしてサークル活動を始めました。また「文化工房かりや」にて、企画立案や写真撮影のボランティアとして活動に関わっていました。写真が好きで、写真によって広報や人とモノをつなげることができるのではと思い、それを企画書に書きました。

●まちコの活動

- ・まちコとなり、市民協働課からの依頼を受けて日程が合う際には活動に参加していました。これまで地域活動に関わることが少なく、小垣江に住んでいた頃にもやろうと思えばできていたのですが、機会を逃していました。まちコ活動は地域団体に顔を出す機会になり、地域活動に参加することができました。他にも、認知症サポーター講座のグループファシリテーター、育休復帰講座、夢ファンレポを担当しました。振り返ってみると、担当した講座の内容が当時の仕事や今の生活にも役立っていると感じています。夢ファンレポでは、カリフェスへの取材をしました。企画会議に参加して、イベントを企画する段階から取材させていただき、イベントができるまでの過程を学びました。

●みんなの場づくり

・以前行っていたまちコ定例会では、参加者が少なくなってきた際に、どのように開催することで人が来るのか、全員にとって最適な答えは見つからないかもしれないけれど、柔軟に少しでも目標に近づくあり方が大事であると学びました。参加しやすい環境を作ってくれようとしていること、間口を広げてくれていることが良かったです。

●社会との接点

・結婚を機に、豊田市へ引っ越しました。コロナ禍の影響もあり、まちコ活動に関わることができていませんでした。文化工房かりやでも、しばらく参加できないため、できるだけあいさつに伺うようにしていました。子どもを出産し、時間がない、夜の外出ができないなど問題点は探そうと思えばいくらでも出てきますが、少しの時間でも顔を出すくらいはできると考え方を考えるようになりました。今年度からは、大野ゼミなどのオンライン参加ができる機会には、参加しています。ないないづくしよりは、少しでも一歩前へと考えたからです。

・育休復帰を控えた時期でもあり、育児に専念できる環境はありがたいけれど、育休中は社会との接点が少なく、社会・世間との開きを感じていました。社会復帰に向けて、自分に近い世界だけでなく、他の様々な人と接点を持ちたいという気持ちも、まちコへの参加を再開するきっかけとなりました。

●今後のやりたいこと

・具体的にはないですが、子どもが小さく参加が限られている状況ではあります。ですが、少しでも参加ができればよし、とポジティブに捉えて参加のハードルを下げたいです。短時間やオンラインなどの子どもを連れて行ける場と一緒にのぞいてみることで、子どもが様々な人と触れ合うことも良いと考えています。そして、子どもが大きくなったときには自分の時間を持ちたいです。少しでも自分ができることがあれば、ちょこっと参加することから始めたいです。続けることが大事であり、短い時間かもしれませんがまちコ活動に関わっていきたいと思っています。

3. 感想共有と意見交換

質疑応答

Q. 育休中は気持ちが落ち込むことがあると聞きますが、ありましたか？また、その場合はどのように解決しましたか？

A. 出産後は、家から出られないこともありました。必要なものはネットでも買えますが、ずっと家にいることが窮屈になり、子どもを見てもらって自分の時間をもらい、外に出ることが貴重な時間でした。また、夫も育休を取りましたが、家にいることが多く会話が少なくなっていました。TV や動画を見ていましたが、受け身な感じで、自分で活動することがあまりありませんでした。いろいろやることはありますが、子どものお世話に追われると自分の時間が持てず、どこかで息抜きしたり、Zoom で皆さんとお話したり、普通の感覚が貴重であると思うようになりました。また、育児経験者が自宅を訪問する制度を利用し、子育て支援に関わる人に話を聞いてもらうことで気分転換になりました。外の人と関わることはとても貴重であり、見方も変わるきっかけになりました。

Q. 松尾さんのお話を聞いて、初めて知ることもありました。外に出る時間がほしいとありましたが、「ないないづくし」から変化したきっかけはありましたか？

A. 育休中、人と話すことが貴重であると思うようになりました。保育園が決まって1年半で育休を終えることとなり、復帰に対する不安がありました。人とのコミュニケーションが下手になっていないか、体力が落ちていないかだけではなく、時間に縛られていない生活に慣れていないことで、決められた社会の中で生活することに不安がありました。その不安を解消する1つのステップとして、まちコ活動に関わるようにしました。また、育休から職場復帰した方との出会いにより、不安であった部分について話を聞き、不安を解消することができました。よいお手本となっていただけの方と知り合えたことが幸いでした。

Q. 「ちょこっと参加」と表現されていましたが、活動をしている立場としてはちょこっと参加を引き出したいと思っています。どのような機会ならちょこっと参加しやすいですか？

A. 参加しやすい場であることと、声を掛けていただくことが大事です。いろいろな都合で遠のいている方も、関係性のある方からの声かけが大事です。まちコ2期生ですが、3期生のLINEグループに入れていただきました。その際に、岡さんから大野ゼミへの参加に声を掛けていただきました。その声掛けが、参加するキッカケになりました。お声かけしてもらおうと久しぶりに会いたいな、と思います。まちコカフェでは、ちょこっとでの参加も良いことや、飲み物と共に参加しても良いなど、敷居を下げてもらえるとう参加しやすいです。

感想

- ・桑畑:お子さんを育てる立場になり、感じる事ができたという話が印象的でした。まちコ活動についても、それぞれ自分の時間で参加すれば良いのかなと思いました。忙しいときはお休みすればよく、元気である安否確認でもよく、顔が繋がっていくことが大事。落ち着いたら活動に参加すればよい。参加することに垣根の低い活動体になりたいです。
- ・前川:今日は松尾さんのお話が聞けて良かったです。お子さんがいながら参加していることはスゴイと思いました。
- ・小原:お子さんに癒されています。まちコカフェについては、今後は桑畑さんを中心に進めていきます。
- ・畑:まちコについては、次年度から活動ができなかったと思っていましたが、松尾さんのお話により考えが変わりました。私は今後も、まちコ活動に関わるようしていきたいです。
- ・塚本:今日は、松尾さんの今まで知らなかった活動を知ることができました。また、声掛けすることにも気を遣いがちで躊躇していましたが、大事であると思いました。子育てすることになった中でも、まちコ活動に対する気持ちをととても感じました。今回は、まちコの可能性や人とのつながりを感じました。まちコ同士のつながりが強く、どんな場でも温かく迎えて、離れていてもすぐに打ち解けるなど、皆さんとつながる会として今後も続けていってほしいと思いました。また、畑さんのような大先輩も活動を続けていきたいと思うようなまちコ活動であると改めて感じました。

●最後の挨拶(畑さん)

今日は楽しい時間をありがとうございました。松尾さんはまちコ2期生であり、先輩です。色々とお教えていただき、ありがとうございました。

4. 市民協働課からのお知らせ

今年度の塚本ゼミは、あと2回となります。次回ゲスト案として、岡さん。そして、最後は塚本さんで進めていこうと考えています。進行役は、市民協働課から依頼させていただきます。



★次回の予定

「岡さんのお話」聞き手:水鳥さん

令和5年12月8日(金)18:00~19:30 @オンライン(Zoom)



塚本ゼミ 令和5年度 第5回「岡さんのお話」

令和5年12月8日(金)18:00~19:30 / オンライン(Zoom)

参加まちコ(敬称略):岡、水鳥、守随、松浦、桑畑、石田、塚本 事務局:刈谷市(小原、内藤、前川)、VNS(加古)

1. 自己紹介とアイスブレイク(ファシリテーター:水鳥さん)

自己紹介・1年を振り返って一番楽しかったこと、イチ押しの出来事	
	桑原さん まちコ5期生。町内会の行事に参加できたことが印象深いです。まちコ活動でも、小山地区にてマングラートの講師役をさせていただいたこともあり、新しいことにチャレンジできました。
	石田さん まちコ6期生。これまで自分が行ってきたことが認められてきたことが、嬉しかったです。また、刈谷市のまちづくりに関する活動に参加できたこと、学校に勤めることができることです。
	守随さん 元世話人。今年3月にガールスカウトの現役リーダーを卒業したことです。現在は、推進会議にてお手伝いしています。また記念誌づくりを行ったことです。
	岡さん まちコ3期生。ドラマ「大奥」にハマリ、このような人になりたいな、と思ったことです。
	塚本さん まちコ3期生。40歳から始めたサーフィンを、現在コーチに付いてもらい習っています。先日、運よく良い波に乗れて、一緒に習っている皆さんに褒めていただいたことです。
	松浦さん まちコ3期生。弟子が増えたこととお茶会を行った際に、250名の方の対応ができたことです。それをきっかけに居酒屋の方と出会ったことです。
	水鳥さん まちコ4期生。念願であった、富士山に登頂してご来光を見れたことです。長い間念願であったことが叶いました
小原: 祖母が孫の思い出話を周囲にしてくれたことです。	前川: 親戚旅行に行きました。
内藤: ナガシマスパーランドの脱出ゲームに成功しました。	加古: 仕事にて、新しいことにチャレンジしたことです。

2. 「ファシリテーターは船頭さん」

(話題提供: 岡さん/聞き手: 水鳥さん)

岡さんからはつなぎの学び舎やまちコ活動を通して、ファシリテーターについてお話いただきました。

●ファシリテーターは、船頭さん

・つなぎの学び舎を受講する中で、多くの学びはファシリテーターとしてのスキルを身に着けることでした。



●企画書づくり

・つなぎの学び舎で使用した企画書について、各項目について、失敗例と合わせて説明しました。

企画の手順

思いをカタチに 企画の手順

企画の手順

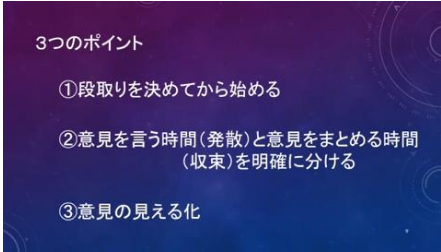
思いをカタチに 企画の手順

思いをカタチに 企画の手順

- 失敗例
- ①話しているうちに何のための議論かわからなくなる
 - ②同じ人がいつも発言している
 - ③雑談のようになって議論がまとまらない

●長寿課の認知症サポーター養成講座にてグループファシリテーターを務める

- ・グループワークについて、企画書を作成しました。想いをねらいとして、コンセプトをゴールとして表記しています。
- ・前年度のアンケート結果ではグループワークを初めて経験する方が多かったため、参加者がアイスブレイクに参加しやすい工夫を取り入れました。
- ・最後に、ファシリテーターを行う上での3つのポイントを紹介して終わりにしたいと思います。ありがとうございました。



令和5年度 認知症サポーター養成講座【グループワーク】	
日 期	令和5年12月7日(土) 13時30分～15時30分
場 所	社会教育センター 401会議室
参加者	市内在住・在勤又は在学中で、これまでに認知症サポーター養成講座の受講料を納めた認知症サポーターから選抜された。地域で活動できるサポーターの育成
目 的	人権の確保・市民意識の向上を図る。
注 意	グループワークは、各2つの大組が輪になり、次のグループのアイスブレイクにつながる。グループ内で学んだことを確認して自分自身から発表し、アイスブレイクすることで他の参加者の顔見知りも共有し、知識につなげる。継続することも推奨する。
進 行	① 認知症の作法 市役所職員で役立シートを各グループに配布し、読み上げ共有する アイスブレイク 名前と生まれの日を告ぐ。1番早いのが1ラウンドの発表。1番遅い人が2ラウンドの発表をすることも事前に確認しておく ② グループワークのすすめ 最初各自自分の意見を書き出す(3分) 1回目1枚、輪流に1枚ずつ枚数を増やしていく 2ラウンドの発表をする(10分) グループとしての結論を書き出す(発表者のみA3用紙へ書き出す。右上にグループNoの記入もする)(2分) 発表: 各チーム1分(時間計測) 発表者以外の方は、各グループに賛否を出す 質問は受け付けない 2ラウンドは同様にする ③ 発表はまとめていく(終了後に共有)

3. 感想共有と意見交換

質疑応答

Q. 情熱的なパワーポイント資料でしたが、ここまでハマったキッカケやエピソードはありますか？

A. ファシリテーターを経験していると、問いかけに対してのリアクションがわかりやすく、参加者に理解してもらえたリアクションがあると嬉しく思います。自分の行動に対してねらいをもって行うことで、自分の進歩や参加者の実りになると思っています。また、企画書を作成することで明確な目的をもって行うことができます。パワーポイントについては今回初めて作成しました。大野ゼミに参加しており、学んだことを活かしました。大野ゼミに参加することで、このようなことができるようになる、と皆さんに知っていただけるキッカケになれば嬉しいです。

Q. 松浦さん、ファシリテーターを行う際に気を付けていること、意識していることはありますか？

A. フレンドリーに参加者に声をかけています。ですが、話し込んでいく内に、方向性が違うところに行くこともあります。今日、ファシリテーターの役割を聞き、学びました。私が行う際に注意していることは、時間をオーバーしないことです。相手の時間をいただいていると意識して、相手がどのように考えるのかを考えながら、言葉を投げかけています。

感想

- ・水鳥: ガールスカウトで愛知県の行事に参加することが多く、「PDCA サイクル」を行っています。企画書の大切さを学んでいます。
- ・桑畑: ファシリテーションを体系的に整理してお話されており、いろんな人に活用していただけるのではないかと思います。印象的な言葉は、「空中戦ではなく目に見える地上戦」です。また、グループワークの時に初めての方が意外と多いことについては、ワークショップの回数を重ねると参加者の発言が増えてくるところからハッと気が付きます。
- ・守随: パワーポイント資料の作り方は、とても良かったです。パワーポイントを作成すると、詰め込み過ぎることが多いですが、今回はポイントを絞って作成しているところが良かったです。企画書については、つなぎの学び舎で紹介し、今現在も使用していただいていることに対して感動しました。話し方については、対話的な言葉にすると良いです。参加者に投げかけてみて、答えが無くても良いです。参加者が考える「間」を作ることが必要です。情報を積み重ねるのではなく、1つずつ情報ををいねいに提供していくことです。聴いている人に、ブリッジをかけることです。初めての方が多く場合は、「ワークショップ」など横文字や参加者に伝わりにくい言葉を使わないことです。「話し合いましょう」など、参加者に合わせて言葉を変えて伝えていく必要があります。あとは、場数を踏むことです。参加者から冷たい対応を受けることもありますが、「仕事で来ています。少しお付き合いください」と参加してもらおうことを伝えていきます。冷たい対応をしていた人が最後には主体的になったとき、良いファシリテーションができたと思っています。

- ・石田:まちコとして勉強会や住民会議などを行う中で、自分の反省点を見付けることができました。今後、まちコ活動の依頼がある際には、上手くできたこと、反省点を活かしながら行っていきたいと思いました。
- ・前川:大野ゼミで学んだことを活かして、パワーポイントを初めて作られたとのことで、素晴らしかったです。最近の仕事で悩みを聴くことが多く、話をすることが苦手ですが、今日のお話を活かすことができればと思いました。
- ・内藤:自分の行動に対してねらいをもって行うことで、参加者だけではなく自分も学びを得ることができるという言葉が印象的で、意識して立ち回られているのがカッコいいな、素晴らしいなと思いました。また、「ファシリテーターは船頭さん」という言葉から、テーマパークのキャストがお客さんと共に行ったアトラクションは、満足感が高いということを連想しました。今回の発表にもありましたように、参加者に投げかけることで、主体的になるワークショップは満足度が高くなるのだと感じました。
- ・塚本:今回の進行役 水鳥さんが、落ち着いて話をされており、コメントなどの進行の姿勢がとても学びになりました。塚本ゼミを開始する当初、市民協働課に提案した通りになったと思いました。普段まちコ同士の交流が少ないだけで、実際にはそれぞれ活動をされています。それをお互いに知り合うことで学びを得られるだけでなく、つながりができ、まちコの広報にもつながります。桑畑さんから始まり、岡さんが大野ゼミで学んだことを活かしている姿など、みんなでつくることのできたことに満足感を得ています。また、これまでのように講師から話を聞くだけではなく、今回のようなまちコ同士で学び合う場を続けていただきたいと思いました。1つ提案させていただくと、お話の中に実体験や失敗例を入れることで、お話の解像度が上がります。それを取り入れることで、参加者が納得感を得られると思いました。

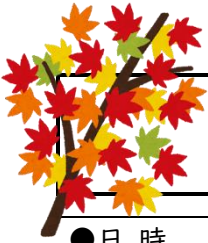
4. 市民協働課からのお知らせ

今年度の塚本ゼミは、あと1回です。次回ゲストは、塚本さん。そして、進行役は守随さんです。また、3月にはまちコ交流会を行います。ぜひ、ご参加ください。



★次回の予定

2024年2月6日(火) 19:00~20:30 「塚本さんのお話」 聞き手:守随さん



まちづくりコーディネーター交流会 令和5年度 第1回

まちとまちコの交流会



- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●日時 2023年9月16日(土)15:00~17:00 ●会場 刈谷市民ボランティア活動センター ●参加者 30名(まちコ12名、一般参加11名、世話人2名
市民協働課 小原・内藤、
ボランタリーネイバース 遠山・西森・加古) ●進行役 小森義史さん(まちコ) ●講師 小山地区長 岡本真幸さん
まちコ 桑畑忠則さん、石田彰宏さん(第1部)
岡 由香さん、松浦章子さん(第2部) | <ul style="list-style-type: none"> ●プログラム 第1部:地域の問題をすっきり整理!
マンガラート& To do リスト勉強会 第2部:まちコカフェ体験会 |
|--|---|

●ねらい

- ・「まちづくりコーディネーター(通称:まちコ)」と一緒に、地域の問題を整理した事例を知る。
- ・「まちコ活動」の実践成果を、まちコを含めた市民の皆さんと共有する。
- ・市民の皆さんとまちコが一緒になって、想いを語る(まちコカフェ体験会)。

■開会あいさつ(市民協働課 小原)

・令和5年度第1回まちコ交流会です。例年のまちコ交流会は、まちコ同士が活動を共有する場として年2回行っていました。今回は初の試みとして、まちコに限らず市民の方にも来ていただいています。本日の交流会は、主にまちコが企画し行っています。まちコは現在22名が登録し、活動を行っています。交流を図っていただければ幸いです。

1. これまでのまちコ活動について

■まちづくりコーディネーター(まちコ)とは?(市民協働課 内藤)

・まちコは、刈谷市民のだれもがいきいきと暮らすために人と人をつなぐお世話役です。行政、NPO、地域団体が何かを協力して取り組みたいときに、間を取り持つ役割です。市民のみなさんがまちづくりに主体的に関わることができるように活動をしています。今年度は、延べ15名の方を、重原地区の住民会議、小山地区勉強会、ワールド・スマイル・ガーデンツツ木等に派遣しました。他にも、市民協働課が主催する入庁3年目の職員に向けた研修にて、市民役として参加するなど、活躍しています。

■アイスブレイク(小森義史さん(まちコ))

・ハンドサインを使い、どんな人が今日参加しているのかを知り合いました。参加者が刈谷市内から来ているのか、まちコやつなぎの学び舎受講生なのか、初めて参加なのか、会場に初めて来たのか、今の気持ちを確認しました。



2 まちコと進めた、地域の問題を整理した事例の紹介(小山地区長 岡本真幸さん)

●小山自治会とは

・小山自治会は、刈谷市の中央に位置している東西に長い地区です。6,600世帯があり、12町24組あります。広見町、一番町の2町は田園地帯です。

●まちコへの依頼

・きっかけは、従来見学会や飲食をしながら交流をしていましたが、コロナ禍になり「何をしよう」となりました。そこで、今困っていること、やってみようことについてアンケート集計を行いました。やってみようことは少なかったのですが、問題点が多く出てきました。問題点を解決す



る手法を考えていた際に、野球選手の大谷翔平選手が夢を達成するためにマンガラートを使用したことを知りました。その手法を活用し、問題解決に取り組もうと思いましたが、自分たちだけでは手法を活用することが難しいと思い、市民協働課に相談したところ、まちコを紹介していただきました。

- ・まちコを講師として派遣してほしい、問題解決するために協力してほしい、と昨年依頼しました。その際に、課題解決の手法を学ぼうというテーマで、まちコに勉強会の講師をしてもらいました。本当は、1回で終わるつもりでした。研修会の代わりとして実施し、手法を学び各地区で実施してほしいと考えていました。ですが、持ち寄った問題がどの地区も共通する問題でした。ゴミの片付け、自治会の会員や子ども会の減少などです。子ども会は、半数が無くなりました。子どもが減少しているだけではなく、やることが多いこと、共働き世帯が多いという理由で、会員が減少しました。
- ・8グループに分かれて、問題を解決するためにマンガラートを活用して解決策を出しました。1つの課題に対して、どのような対策をするのか話し合いました。マンガラートを活用した話し合い後、地区に持ち帰って実践してもらうためにToDoリストを作成しました。
- ・あるグループでは、「ゴミステーションが汚い」という問題を掘り下げ、「ゴミ出しルールを知らないこと」が要因ではないかと考え、手順書を作成しました。そこから、ToDoリストを作成しました。

●最後に

- ・勉強会を通して、マンガラートがどのようなものかを理解しました。また、コミュニケーションが取れていないことも判明しました。お互いの話を聞くことができたことで、まちコには感謝しているという感想をいただきました。

3 ミニ講座「地域の問題をすっきり整理！マンガラート& To do リスト勉強会」 (まちコ 桑畑忠則さん、石田彰宏さん)

- ・今日は、小山地区にて行ったマンガラートを体験していただき、ご自身のまちでも活用していただく機会になればと思っています。



●マンガラート体験

- ・課題を解決する際、行動に落とし込むために整理をすることが必要です。何が課題なのか、なぜ起こるのか、原因・要因の整理を行い、対策案を作り、実行するという流れです。
- ・今日は、2ラウンドのワークを行います。まず、地域の問題点・課題からテーマを1つ選びます。地域活動では、課題を共有することは大変です。やり方は、9マスの図の真ん中に課題を書きます。そして、その課題の原因を付箋紙に書き出します。書き出した付箋紙をグループ内で共有し、同じものをまとめていきます。最重要と思う原因・要因に○を付けます。
- ・次に、最重要の原因・要因をラウンド1と同じく、9マスの図の真ん中に置きます。続いて、その原因・要因への対策を付箋紙に書き出し、グループ内で共有し、同じものをまとめてください。

●ToDoリスト

- ・マンガラートで整理された対策に対して、実際に行動へ移すためにリスト化します。今日は時間がないため行いませんが、小山自治会にてまちコとして関わり行っています。また、まちコになっていただく「まちコルーム」という情報サイトがあり、情報共有するほか、大野ゼミにてより深く学ぶ機会を得られます。

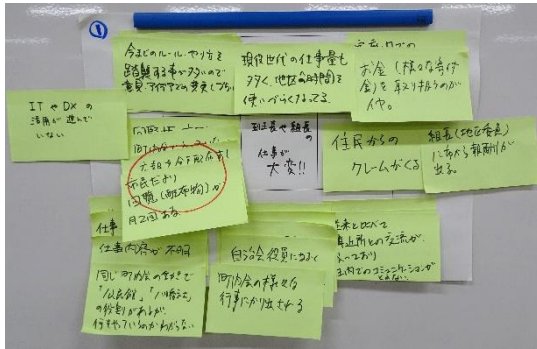


●大野さんより総評

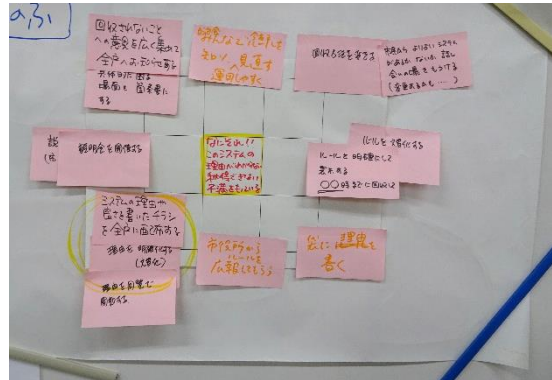
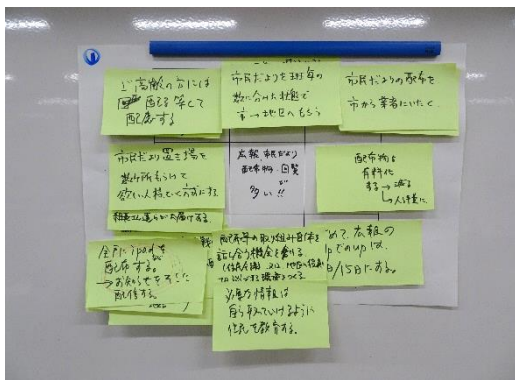
・お疲れさまでした!ここに参加している方々は、羨ましいな、と思いました。マイクを離さない方が多く、地域でも同じようにマイクを離さない方を見付けることが必要です。また、今日行ったマンダラートは私の地域でも実際に取り組んでみたいと思いました。ありがとうございました。

●各グループのマンダラート

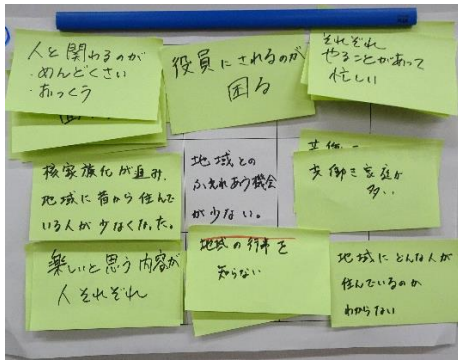
①



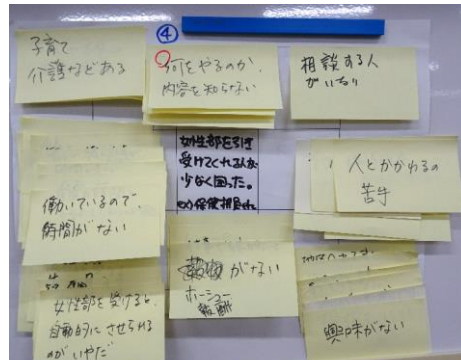
②

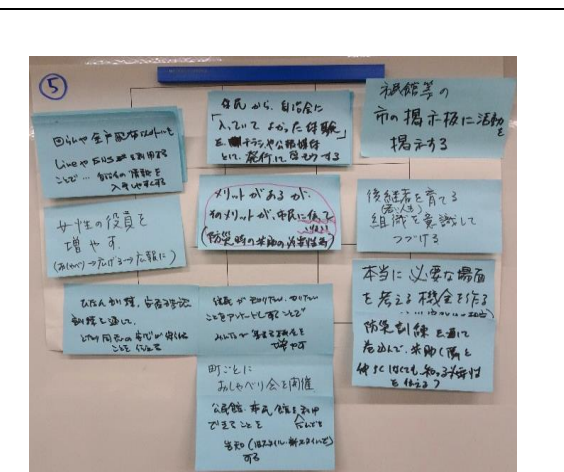
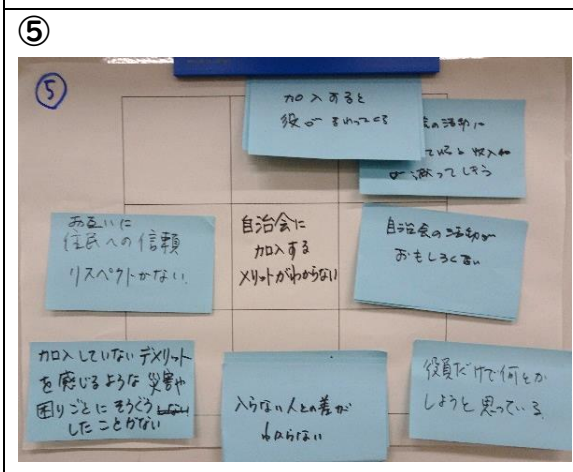
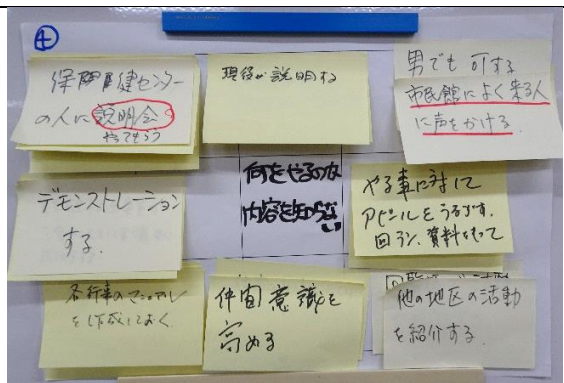
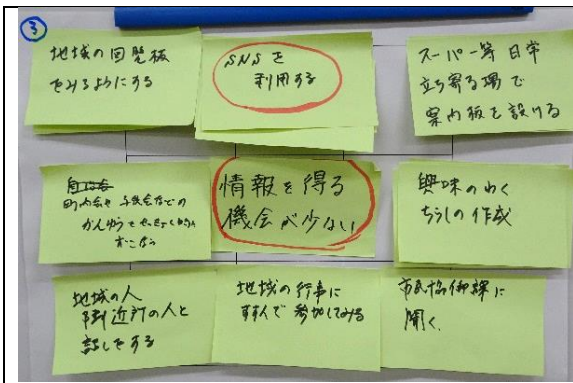


③



④





4 まちコカフェ体験会 (まちコ 岡 由香さん、松浦章子さん)

・2 グループに分かれて、自己紹介と「まちづくりやファンリテーションについて」意見交換を行いました。



●まちコカフェとは
 ・まちの困り事について気軽に話ができる場です。今後は、「まちコカフェ倶楽部」という団体が運営をしていきます。

■閉会 (市民協働課 小原・内藤)

・わがまちのしゃべり場のお手伝いスタッフを募集しています。防災をテーマに、市民ボランティア活動センター主催の「まなぼうさい」とタイアップして実施します。まちコのみなさんには、運営スタッフとして、市民のみなさんには、当日参加者としてお越しいただきたいと思っております。
 ・今回は、市民のみなさんに初めて参加してもらった交流会でした。まちコを知っていただく良い機会となりましたら、幸いです。

0 第1回まちコ交流会ができるまで

・今年度の第1回まちコ交流会は、まちコ有志が集まり打ち合わせを重ねて実施しました。

■第1回 有志打ち合わせ

日時:2023年7月20日(木)10時~12時

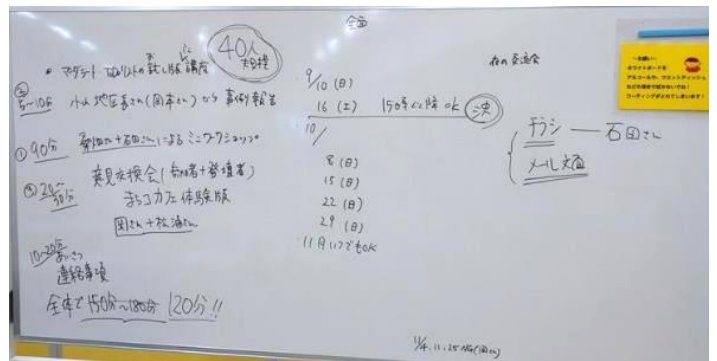
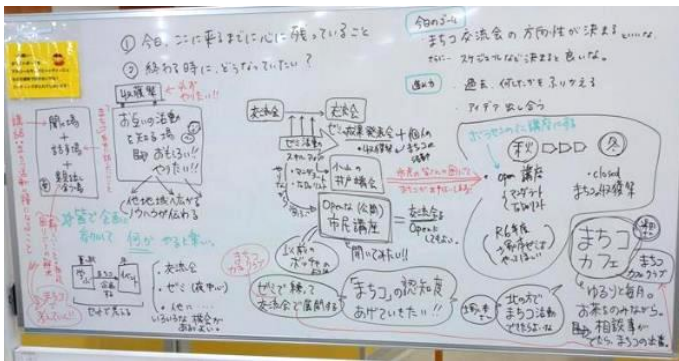
場所:刈谷市民ボランティア活動センター

(以下、ボラセン)

参加者(敬称略):桑畑、大野、石田、原、岡、小森(オンライン)、ボラセン(米田)、市民協働課(小原、内藤、前川)ボランティアネイバーズ(西森、遠山、加古)

打ち合わせ内容:

- ・これまでのまちコ交流会をふりかえる
- ・開催日程、テーマ
- ・話を聞いてみたい講師の案
- ・まちコで企画&実践



■第2回 有志打ち合わせ

日時:2023年8月15日(木)13時~15時

場所:オンライン(ZOOM) ※台風接近のため、オンラインにて実施

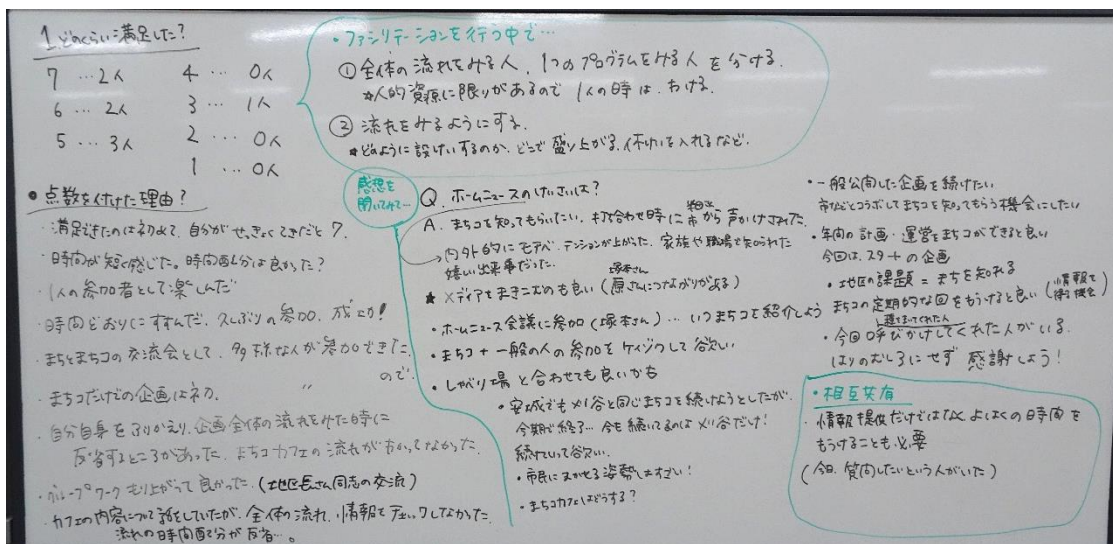
参加者(敬称略):大野、岡、桑畑、石田、市民協働課(内藤、前川)、ボランティアネイバーズ(西森、遠山、加古)

打ち合わせ内容:当日に向けて、役割や作成する資料、受付方法などを確認

■終了後のふりかえり

まちコ交流会終了後には、運営ふりかえりシートを記入し企画・実施に関わった有志を中心にふりかえり会を行いました。

ふりかえり会では、それぞれが今回の交流会実施する中で満足度や学んだこと、感想を共有しました。



共存・協働による地域活動の活性化に向けた検討

資料 2

【協議の方針】

- ・地域活動の活性化に向けて、共存・協働によって、今後、各自治会等で取り込まれるとよいことについて検討する。
- ・課題が具体的になっている地域をモデルに、取組を考える。

(世帯数は令和 5 年 12 月 1 日、自治会加入率は令和 4 年 4 月 1 日時点での数値)

自治会	小山地区	重原地区	高須地区
世帯数	6,446 世帯	2,422 世帯	1316 世帯
自治会加入率	60.1%	69.6%	99.7%
元気交付金申請状況	○2016～18 年度に「地域情報の共有化事業」、2019～21 年度に「安心・安全な街、住みよい小山の街づくり」事業が採択	○2023 年度の申請に向けて住民会議を開催し、まちコ派遣を行った。	○2021～2022 年度「多世代交流による地域の活性化と子どもの社会教育によるコアの見えるまちづくり」他、2020 年、2017～18 年度にも事業採択されている。
地域の課題・取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌の発行により、多くのクラブ活動や事業が行われていることが顕在化した。 ・歩け歩け大会、盆踊り等の既存事業の魅力アップ、子どもと高齢者が集うふれあいサロン等が取り組まれている。 <p>* 2023 年 2 月実施の住民会議（まちコ派遣）で話し合った課題 ①自治会加入低下、②役員のなり手不足、③子ども会会員の減少</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の住民会議では、地域での自主活動について「①楽しく継続するには」「②グループ活動の課題（＝初心者と経験者が一緒に楽しむには、会の運営の仕方）等」を話し合った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2020、2021～22 年度の事業では、ボランティア団体「高須のがっこう」に自治会が委託する形で、若手の視点での地域活性化に取り組んでいる。 ・事業毎に「子育て世代ボラ」「中高生ボラ」「一般ボラ」を募って住民の巻き込みに努めている。地区役員も「高須のがっこう」に協力する関係ができています。
共存・協働による取組みのテーマ	* 住民会議で話し合った対応策例) 自治会のメリットの情報提供、SNS 活用、おやじの会などボランティアの活用、役員の役割の細分化等	・公民館の自主サークルが元気交付金を通して活躍を広げ、新しい仲間づくりを進める中で住民参加のすそ野を広げる	・イベント的な事業に関わってくれている人たちが日頃の地域づくりにも関わっていくような展開につなげる
その他	自治会の情報発信についてモデル的な地区		子ども・若者の育成を地域が応援している事例としてモデル的な地区

	築地地区	東刈谷地区
世帯数	2,757 世帯	約 6,000 世帯
自治会加入率	66.9%	54.7%
元気交付金 申請状況	○無し	○無し
地域の課題・ 取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 刈谷で一番若いまち、まとまりのある地区 町を明るくする運動 例) 資源回収、河川清掃 自治会行事 例) 運動会、敬老会、鏡開き 地域の意識向上 例) 募金活動、ボランティア活動 安全なまちづくり 例) 交通安全立哨、防犯防災活動 ※上記は令和3年度わがまちのつむぎ場にて、まちコによる地区取材で得た情報（コロナ禍のため、イベント情報が少ない）	<ul style="list-style-type: none"> 東刈谷商店街と共に発展する新興住宅地「東刈谷商店街未来プロジェクト」 地区の防災意識と防災力向上を目的に、毎年秋に「ワイワイフェスタ」を開催 新興住宅地の「良い点の維持管理」と「問題点の可視化と対策」に取り組み中 例) 問題点を「要望書」にまとめる。 ・「進捗管理・業務フロー図」を作成し、改善に向けた進捗管理の強化。 「施工優先順位付け基準」を設定し、土木管理課と協力して地区の改善活動を進めている。
共存・協働による取組みのテーマ		<ul style="list-style-type: none"> イベント等を通じ、ご近所同士で顔見知りとなることで共助の力を養い、地域の防災力向上を目指す
その他	<ul style="list-style-type: none"> 地区長が活動に意欲的 →令和5年9月16日（土）まちコ交流会にも参加 	※上記は令和5年度わがまちのつむぎ場にて、まちコによる地区取材で得た情報

【まちづくり部会 今後の流れ】

【ホップ（令和5～7年）】

- ・各地区ヒアリング（令和6年度第1回部会までに）
- ・ヒアリング結果からやれること、やりたいことの洗い出し
- ・モデル地区の選定

【ステップ（令和8～9年）】

- ・具体的に取り組めるように後方支援

【ジャンプ（令和10年以降）】

- ・取り組みのレベルアップ
- ・他地区へ展開